

農産物の環境負荷低減の「見える化」

農林水産省では、消費者に環境への負荷の低減が図られた農産物を選択してもらえるよう、「温室効果ガスの削減への貢献度合い」と「生物多様性保全への配慮」を星の数でラベル表示する「見える化」を進めています。



「見える化」を貼った
ミニトマト



「見える化」ってどんなこと？

化学肥料・化学農薬や化石燃料の使用削減、バイオ炭やたい肥の施用、水管理（水田）などの生産者の栽培情報を用いて、定量的に温室効果ガスの排出と吸収を算定し、削減率に応じた星の数を「見える化」へ分かりやすく表示します。

温室効果ガス削減への貢献

栽培情報を用い、生産時の温室効果ガス排出量を試算し、地域の慣行栽培と比較した削減貢献度を算定。

$$100\% - \frac{\text{対象生産者の栽培方法での排出量(品目別)}}{\text{地域の標準的栽培方法での排出量(品目別)}} \times 100 = \text{削減貢献率(\%)}$$

排出(農薬、肥料、燃料等)
ー吸収(バイオ炭等)

★ : 削減貢献率5%以上
★★ : // 10%以上
★★★ : // 20%以上



生物多様性保全への配慮

<取組一覧> ※米に限る

化学農薬・化学肥料の不使用	2点
化学農薬・化学肥料の低減(5割以上10割未満)	1点
冬期湛水	1点
中干し延期または中止	1点
江の設置等	1点
魚類の保護	1点
畦畔管理	1点

★ : 取組の得点1点
★★ : // 2点
★★★ : // 3点以上

対象品目：24品目

米、トマト(露地・施設)、キュウリ(露地・施設)、なす(露地・施設)、ほうれん草、白ねぎ、玉ねぎ、白菜、キャベツ、レタス、大根、にんじん、アスパラガス、ミニトマト(施設)、いちご(施設)、ピーマン(露地・施設)、リンゴ、温州みかん(露地・施設)、ぶどう(露地・施設)、日本なし、もも、ばいりしよ、かんしょ、茶

※括弧書きがないものは全て露地のみ

「見える化」の詳細については
こちら↓



https://www.maff.go.jp/tohoku/seisan/mieruka/mieruka_tohoku.html

ラベル愛称は「見える化」です。今後店頭で「見える化」が貼られた商品が増えていきます。

